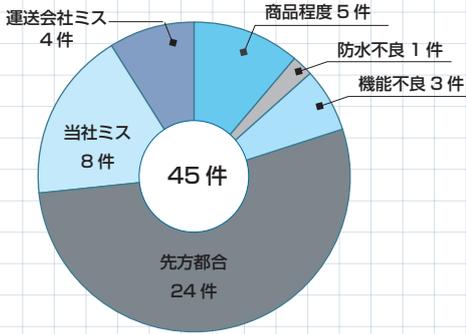


# リポートニュース

平成28年5月号 NO.168

最近BS様から「中古部品が高くなっている」といった声を聞きます。一般的な原因の一つとして部品取り対象となる中、低年式事故車両や使用済車両が輸出対象になり、オークションなどで高値取引が続いている上に、钣スクラップ価格の下落といった相場状況下で部品単価が上昇していると考えられます。解体事業者の部品流通は業者間ネットワークの活用で売買取進められていますが最近ではより高い収益性を求めインターネットのストアに出品して通販的な流通も始めています。この為に売れ筋のパーツでは、ネット販売の高値に準じた価格で業販価格が提示される傾向もあり市場で割り高感を生む理由ではないかと考えています。リサイクルパーツの販売形態も多様化の道を進んでいる様です。

## 4月のクレーム ⑦ 集計報告



## 自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内訳	
バンパー	1件	1/1,465	0.07%	仕上り不完全 1件
フード	1件	1/262	0.38%	歪みで車体に合わない 1件
フェンダー	3件	3/838	0.36%	浮きが大きく合わない、ゆがみ隙間あく、ライン出でないのとペーパー粗い各 1件
ドア・Rゲート	0件	0/205	0.0%	
ライト	4件	4/1,028	0.39%	点灯不良 3件 水もれ 1件
計	9件	9/3,798	0.23%	

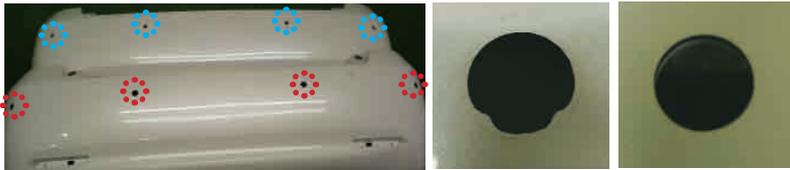
## 豆知識 クラウン 210系 (現行型)

### Rバンパーの前期、後期の違い

前期 H24.12 ~ センサー穴の形状      後期 H27.10 ~ センサー穴の形状



Rバンパーの外観は全く同一ですが、センサーの穴の形状が違っています。トヨタ系の傾向としてセンサーの性能が日進月歩している為に、これらを取り付ける穴の形状も異なってくるものと思われまます。



上:後期タイプ      下:前期タイプ      前期センサーの穴      後期センサーの穴

## 豆知識 ヴェルファイア 30系

### H27.1 ~発売の内側テールランプは2種類あります。

内側のテールランプ  
リヤフォグ用・・・3連LED付く  
// 無し・・・付かない

レンズNOは小糸58-72と同じですので、ご注文の際はRフォグ有り、無しをご確認下さい。一般的にはRフォグランプは寒冷地などで多く利用されている様です。

上:Rフォグナシタイプ      下:Rフォグ付くタイプ



## 補修しやすい部品提案

より機能的で優れたデザイン性をもつヘッドライトの日進月歩は目を見はるものがあります。同時に販売価格も高額になり、アフターマーケット市場では、ヘッドライトのリサイクルを求める声が多くあります。こうした声に後押しされて自研センターの技術開発部の方々当社を訪問されました。自研センターでは、ヘッドライトの凡用的な補修方法を模索する中でメーカーに修理しやすい部品作りの協力を呼びかけてゆこうというものです。こうした取組みは私達リビルダーにとっても結構な事と受け止めています。

PS 自研センター：損傷自動車修理の工賃算定をより合理的なものにするために脱着、取替、钣金および塗装に係る標準的な作業時間を示す「指数」を策定している所です。



## 労災事故

梱包作業中に発生しました。梱包する商品の大きさに合せて、既設ダンボール箱のサイズを縮める為にダンボールの底からカッターを入れ身体の方に引き上げて来た。この際にカッターセーフティカッター 500円の刃が片方の腕内側に触れ出血した。再発防止策として、カッターの刃がダンボールから離れると、刃が引っ込むタイプのカッターナイフを取り寄せる事にしました。大変好評です。



## 給与体系の見直し

世代交替の一つとして、これまで社長の頭の中にあった社員の評価基準をりそな銀行のシンクタンクである「りそな総研」に依頼して「見える化」の作業に着手しました。

4月には総研の担当者による社員面談が2回実施され、約半数の社員から現状の給与に対する「理解度」がどの程度なのか調査されました。10月末までに経営者と社員の相方が納得した評価基準を作る事と、評価をする側の公平性をどの様に維持するかといった2面的な問題に取り組む予定です。来年度から新しい給与体系のもとで新生越谷フェンダーをスタートさせ、活気ある組織に変貌させるつもりです。ご期待下さい。

## フロントのコンピューター総入れ替え

コンピューターの使用ひん度の高いフロントのパソコンは5年毎の定期交換でハード面のトラブルをゼロベースにキープしています。4月に8台のパソコンを一斉交換を済ませ同時に、インターネットの導入口にあるフォーティゲートは容量の大きいものに交換しました。パソコンの処理スピードがサクサクした感覚を取り戻しました。これで問い合せの回答スピードも速まりすこは売上アップにつながるものと期待しています。交換済のパソコンは現場でデータ管理用として再利用する予定です。



新しいフォーティゲート-100D

## クレームの現地調査 (パネル類の全体的な歪み問題)

最近のパネル部品は軽微な事故であっても、損傷している部分にとどまらず広範囲に目視では確認出来ない折れや、歪みが生まれる傾向があります。この為、いざ車体に取付けると合わないといったクレームが毎月1~2件発生しています。こうした問題を現場でどの様に取組んでいるか? 実態調査をしました。

### BS様の声

- 柔軟性のあるバンパー類とは違い、パネル部品は補修されると二度手間になる。最近のパネルは钣金が薄く伸び易い為、叩き出しを避け、パテによる整形も多く、作業工程の違いから当社のパーツは扱いが難しい。
- 細かいヘコミや裏側の多少の変形は手をかけずにそのまま納品してほしい。

お客様の利用環境によってリノベートパーツに向けられるニーズにも多様性があり、今回の多様性のニーズをしっかりと受け留めました。お客様が希望するパーツ供給が出来るように販売・生産システムのカイゼンを進めてゆきます。